

東京都仕様
耐震形割T字管

平成26年3月

 東京都水道局

耐震形割T字管

制定 平成18年 9月14日 水給給第160号

改定 平成23年 4月18日 水給給第 13号

改定 平成26年 3月 4日 水給給第257号

1 適用範囲

この仕様は、東京都水道局（以下「当局」という。）の給水区域内に設置される給水装置用材料であって、当局が管理する配水小管（以下「被分岐管」という。）から給水管（以下「分岐管」という。）を分岐するために、使用圧力0.75MPa以下の水道に使用する耐震形割T字管（以下「割T字管」という。）について規定する。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この仕様に引用されることによって、この仕様の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版を適用する。

JIS G 4303 : 2012	ステンレス鋼棒
JIS G 5502 : 2007	球状黒鉛鋳鉄品
JIS S 3200-1 : 1997	水道用器具—耐圧性能試験方法
JIS S 3200-7 : 2004	水道用器具—浸出性能試験方法
JWWA B 122 : 2005	水道用ダクタイル鋳鉄仕切弁
JWWA G 112 : 2004	水道用ダクタイル鋳鉄管内面エポキシ樹脂粉体塗装
JWWA G 114 : 2010	水道用ダクタイル鋳鉄異形管
JWWA K 156 : 2004	水道施設用ゴム材料
JWWA Z 100 : 1982	水道用品表示記号
JWWA Z 103 : 2000	水道用バルブのキャップ
JWWA G 121 : 2013	水道用GX形ダクタイル鋳鉄異形管

3 種類及び呼び径

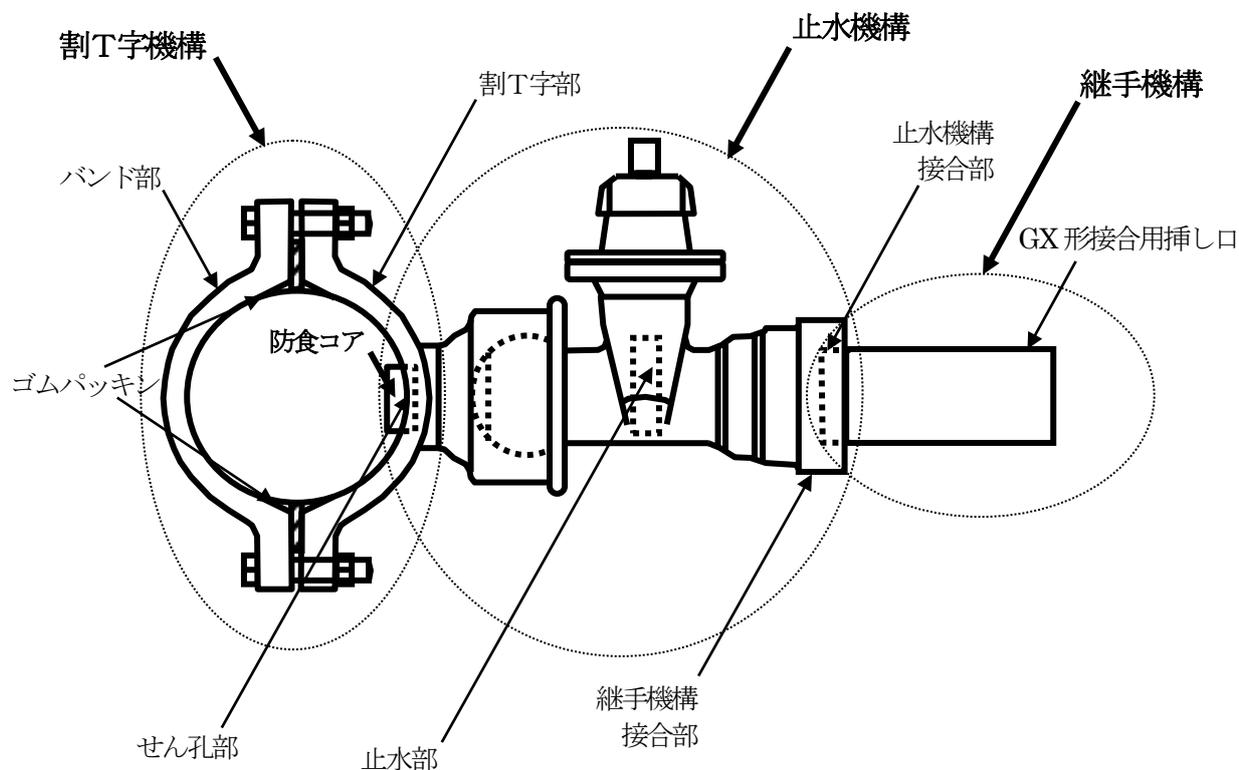
割T字管の種類及び呼び径を表-1に示す。

表-1 割T字管の種類及び呼び径

種 類		呼 び 径		
被分岐管	記 号	止水機構	継手機構	割T字機構
鋳鉄（ミリ）管	D又はC	75	75	100, 150, 200, 250, 300, 350
		100	100	150, 200, 250, 300, 350
		150	150	200, 250, 300, 350

4 概略

割T字管の概略は、図－1による（この図は、部品名称を例示するものであって、割T字管の構造を規制するものではない）。



図－1 割T字管の概略図

5 構造及び形状

各部の構造及び形状は、通常の使用及び施工に支障のない形状で、十分な強度及び耐久性を有するとともに、製品全体として「9. 性能及び試験方法」に示す耐震性能を有すること。

なお、各接合部はフランジ式の接合方式としてはならない。

また、特殊な工具を使用することなく、施工（せん孔及び防食コアの挿入を除く。）が可能であること。

製品は、施工完了時に配水小管頂部から0.15m以内にする事が可能な構造とする。

各部の構造及び形状は、次のとおりとする。

(1) 割T字機構

割T字部とバンド部の連結においては、十分な強度を有し、被分岐管への固定が可能であること。

なお、バンド部は、施工上支障がなければ分割されていてもよい。

また、割T字機構と被分岐管との水密性を確保するために、ゴムパッキンを使用すること。

割T字機構は、表－2に示す当局が管理する被分岐管への固定が可能な構造とする。

表－2 被分岐管の種別及び外径

単位：mm

種別 \ 呼び径	100	150	200	250	300	350
鋳鉄(ミリ)管	118.0	169.0	220.0	271.6	322.8	374.0

(2) 止水機構

ア セン孔部

せん孔及び防食コア挿入時のせん孔カッター又はコアの受入口で、せん孔後は、被分岐管からの通水口となること。

イ 止水部

被分岐管から分岐管への通水及び止水が、弁の開閉操作によって可能な構造とする。

止水操作は、右回り開き、左回り閉じとする。

なお、バルブのキャップの形状は、JWWA Z 103「水道用バルブのキャップ」の付図1で規定する右開きキャップ、高さ寸法50とする。

ウ 継手機構接合部

特殊な工具を使用することなく、継手機構の着脱が容易にでき、閉栓時には附属書3「耐震形割T字管用栓」で規定する栓を取付け可能な構造とする。

また、継手機構接合部には、着脱が容易にできるように接合用の付属部品、水密性等を確保するためにパッキン類を用いることができる。

なお、せん孔及び防食コア挿入時には、せん孔機又はコア挿入機の装着ができること。

エ 可とう部

せん孔、防食コア挿入及び継手機構着脱時に、可とう部を固定できる構造とする。

なお、可とう部を固定するためにボルト・ナット類を用いることができる。

(3) 継手機構

ア 止水機構接合部

止水機構との接合に支障がないこと。

イ 分岐管接合部

分岐管接合部は、GX形接合用挿し口とし、JWWA G 121「水道用GX形ダクタイル鋳鉄異形管」の表10で規定するGX形ダクタイル鋳鉄異形管接合部の寸法及び同規格附属書Aの表A.13で規定するP-Link接合部の寸法を基に、G-Link及びP-Linkを使用した接合に支障のない寸法とすること。

ウ 種類

直管及び曲管

(4) 防食コア

附属書2で規定する「耐震形割T字管用防食コア」の装着に支障がないこと。主要寸法を、図-2及び表-3に示す。

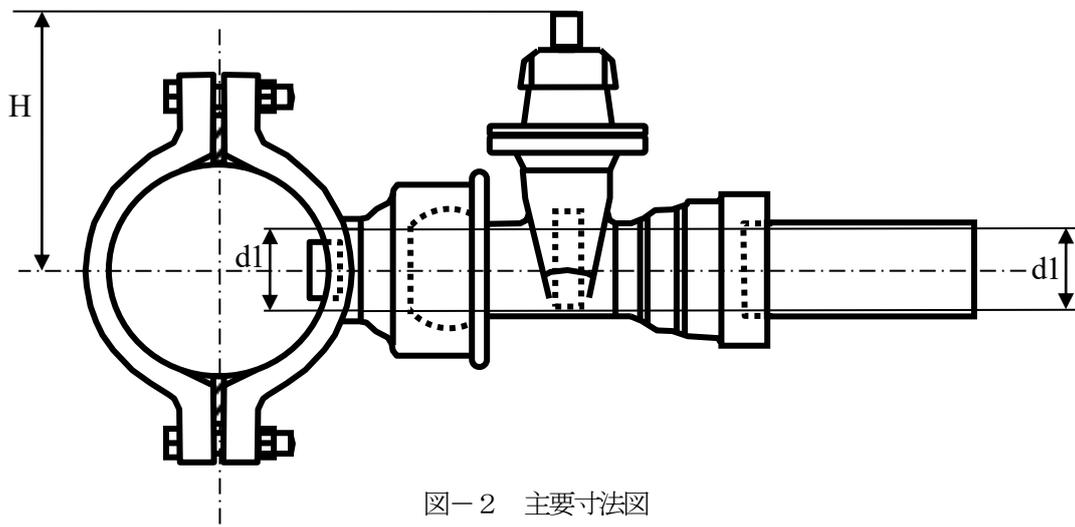


図-2 主要寸法図

表-3 割T字管の主要寸法

単位：mm

止水機構の呼び径	d1(最小)	H(最大)	穿孔径(最小)
75	72	330	64.5
100	96	365	89.5
150	146	455	139.5

備考 1) d1は、せん孔部の防食コアを装着するのに必要な内径を示す。

6 材料

材料は、通常の使用及び施工に十分耐えられるだけの強度及び耐久性を有し、かつ、水質に悪影響を及ぼさないものとする。

なお、必要箇所に用いるパッキン類には、JWWA K 156「水道施設用ゴム材料」で規定するゴムを使用する。

各部における主要部の材質は、次のとおりとする。

(1) 割T字機構

主要部の材質は、JIS G 5502「球状黒鉛鋳鉄品」で規定するFCD450-10を使用する。

ゴムパッキンは、JWWA K 156「水道施設用ゴム材料」で規定するゴムを使用する。

ボルト・ナット類を用いて割T字部とバンド部を連結する場合には、JIS G 4303「ステンレス鋼棒」で規定するSUS403又はこれと同等以上のものを使用する。

(2) 止水機構

主要部の材質は、JIS G 5502「球状黒鉛鋳鉄品」で規定するFCD450-10を使用する。

また、継手機構接合部に接合用の附属部品を用いる場合には、主要部と同材質又は同等以上のものを使用し、水密性等を確保するために、パッキン類を用いる場合には、JWWA K 156「水道施設用ゴム材料」で規定するゴムを使用することができる。

(3) 継手機構

主要部の材質は、JIS G 5502「球状黒鉛鋳鉄品」で規定するFCD450-10を使用する。

7 外観

(1) 塗装前の外観

鋳鉄部の塗装前の外観は、鋳肌の表面が滑らかで、鋳巣、割れ、傷、鏽びりその他使用上有害な欠点があってはならない。

(2) 塗装後の外観

鋳鉄部の塗装後の外観は、異物の混入、塗りむら、ピンホール、塗りもれ等の欠陥がなく、表面が滑らかで均一な塗膜でなければならない。

8 塗装

塗装は、異物の混入、塗りむら、ピンホール、塗りもれ等の欠点がなく、表面が滑らかで均一な塗膜が得られるようにする。

(1) 内面塗装

ア 内面塗装の範囲は、接水面とする。

イ 塗料は、JWWA G 112「水道用ダクタイル鋳鉄管内面エポキシ樹脂粉体塗装」の4(塗料)で規定する塗料を使用する。

ウ 内面塗装は、JWWA G 112「水道用ダクタイル鋳鉄管内面エポキシ樹脂粉体塗装」の6.1(被塗装

面の前処理)、6.2 (塗料調整)、6.3 (塗装方法) で規定する塗装を施す。

エ 硬化後の塗膜の厚さは、0.3 mm 以上とする。ただし、合わせ面、はめ合い部、パッキン装着部及びしゅう動部は除く。

(2) 外面塗装

JWWA G 114「水道用ダクタイル鋳鉄異形管」の13.2 (外面塗装) で規定する塗装又はこれと同等以上の塗装を施す。

なお、外面塗装範囲については、当局と協議を行うこと。

9 性能及び試験方法

通常の使用及び施工に支障のない形状で、十分な強度及び耐久性を有し、水質に悪影響を及ぼさないものであること。

また、曲げ水密性、離脱防止性、曲げ強度性、可とう性について、製品全体として耐震性能を有すること。

なお、性能及び試験方法は表-4によること。

表-4 性能及び試験方法

性能項目	性能	適用試験方法								
耐圧性	漏れ、変形、破損その他の異常がないこと。	JIS S 3200-1								
浸出性	厚生省令第14号「給水装置の構造及び材質の基準に関する省令」に適合すること。	JIS S 3200-7								
止水性	弁座に漏れがないこと。	JWWA B 122 10.6								
作動特性	弁が円滑に全開及び全閉すること。	JWWA B 122 10.7								
耐震性	曲げ水密性	可とう部に漏れ、変形、破損その他の異常がないこと。 附属書1 2.1								
	離脱防止性	表-5 に示す引張力において、離脱、漏れ、破損その他の異常がないこと。 表-5 引張力 単位：kN <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>呼び径</td> <td>引張力</td> </tr> <tr> <td>75</td> <td>225</td> </tr> <tr> <td>100</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>150</td> <td>450</td> </tr> </table> 附属書1 2.2	呼び径	引張力	75	225	100	300	150	450
	呼び径	引張力								
	75	225								
100	300									
150	450									
曲げ強度性	表-6 に示す限界曲げモーメントにおいて、可とう部及び接合部に漏れ、破損その他の異常がないこと。 表-6 限界曲げモーメント 単位：kN・m <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>呼び径</td> <td>限界曲げモーメント</td> </tr> <tr> <td>75</td> <td>4.4</td> </tr> <tr> <td>100</td> <td>7.4</td> </tr> <tr> <td>150</td> <td>17.0</td> </tr> </table> 附属書1 2.3	呼び径	限界曲げモーメント	75	4.4	100	7.4	150	17.0	
呼び径	限界曲げモーメント									
75	4.4									
100	7.4									
150	17.0									
可とう性	可とう角 15° 以上 附属書1 2.4									

10 表示

表－5の事項を見やすい箇所に鋳出し又は容易に消えない方法で表示する。

表－5 表示

表示箇所	表示項目	表示方法
止水機構	止水機構の呼び径	鋳出し又は容易に消えない方法で表示する。
	止水弁の開閉方向	
割T字機構	都の認証マーク	鋳出し又は容易に消えない方法で表示する。ただし、表示記号は、JWWA Z 100「水道用品表示記号」による。
	被分岐管の呼び径	
	分岐管の呼び径	
	製造業者名又はその略号	
	製造年（西暦の下2桁）	
継手機構	球状黒鉛鋳鉄品の記号D	鋳出し又は容易に消えない方法で表示する。ただし、表示記号は、JWWA Z 100「水道用品表示記号」による。
	継手機構の呼び径	
	製造業者名又はその略号	
	製造年（西暦の下2桁）	
	球状黒鉛鋳鉄品の記号D	
角度（曲管の場合）		
ボルト	製造業者名又はその略号	頭部の適当な箇所に、浮き出し又は打刻などで表示する。
ゴム	材料の記号	使用上差し支えのない箇所に、容易に消えない方法で表示する。ただし、製品に表示できない場合は当局と協議を行うこと。
	種類及びデュロメータ硬さ	
	製造業者名又はその略号	
	製造年（西暦の下2桁）	

11 その他

(1) せん孔機及びコア挿入機

せん孔機及びコア挿入機は、施工者が容易に購入及び施工可能なものとする。

(2) 施工、操作方法等

製品には、施工、操作方法等に関する取扱説明書を用意すること。

(3) 附属品

配水小管の分岐せん孔面の防食に用いる防食コアを附属品とする。

(4) その他

その他疑義を生じた場合には、当局と協議を行うこと。

附属書1 耐震性能試験方法

1 適用範囲

この附属書は、東京都水道局（以下「当局」という。）の給水区域内に設置される給水装置用材料であつて、当局が管理する配水小管（以下「被分岐管」という。）から給水管（以下「分岐管」という。）を分岐するため、使用圧力 0.75MPa 以下の水道に使用する耐震形割T字管（以下「割T字管」という。）の耐震性能試験方法について規定する。

2 試験方法

2.1 曲げ水密性能試験

- (1) 割T字管を被分岐管に固定し、適当な方法で割T字管内を密閉する。
- (2) 止水弁を全開にした後、管内に充水し、管内の空気を除去する。
- (3) 割T字管の可とう部を許容屈曲角度 15° まで、上下・左右に各 20 回繰り返し曲げる。
- (4) 図-1 に示すように、割T字管の可とう部を許容屈曲角度 15° まで曲げた状態で、水圧 1.75MPa を加え、5 分間保持する。
- (5) (4) について、上下左右 4 方向に対して試験を行う。

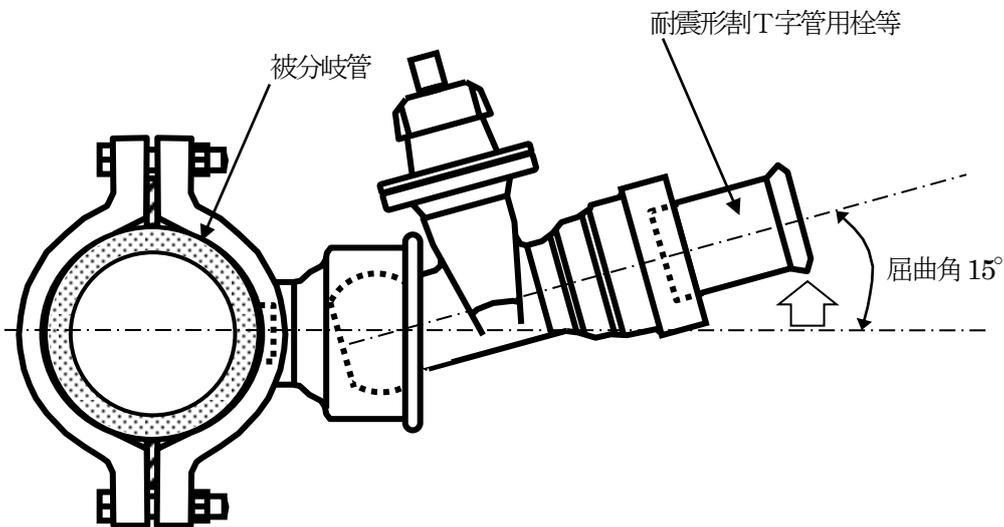


図-1 曲げ水密性能試験装置例

2.2 離脱防止性能試験

- (1) 図-2に示すように割T字管を被分岐管に固定し、継手機構にG-Link を使用してGX 形異形管等を接合する。
- (2) GX 形異形管等に引張り力を負荷し、5 分間保持した後、引張力を解除する。
- (3) 止水弁を全開にした後、管内に充水し、管内の空気を除去する。
- (4) 水圧 1.75MPa を加え、5 分間保持する。

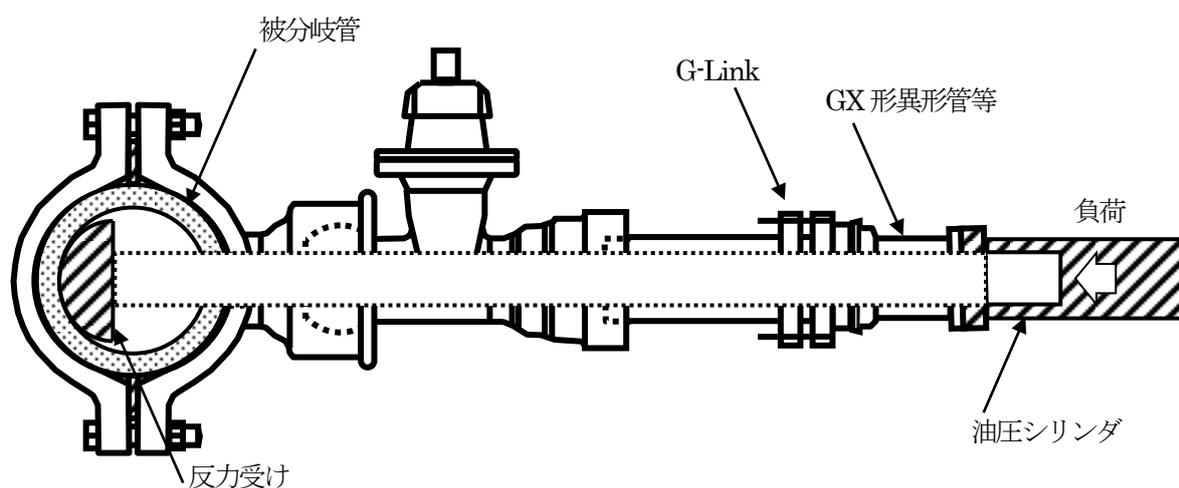


図-2 離脱防止性能試験装置例

2.3 曲げ強度性能試験

- (1) 可とう部
 - ア 止水弁を全開にした後、管内に充水し、管内の空気を除去する。
 - イ 図-3-1に示すように適当な方法で割T字機構を固定し、可とう部に限界曲げモーメントを負荷し、5分間保持する。
 - ウ 限界曲げモーメントを負荷した状態で水圧 1.75MPa を加え、5 分間保持する。

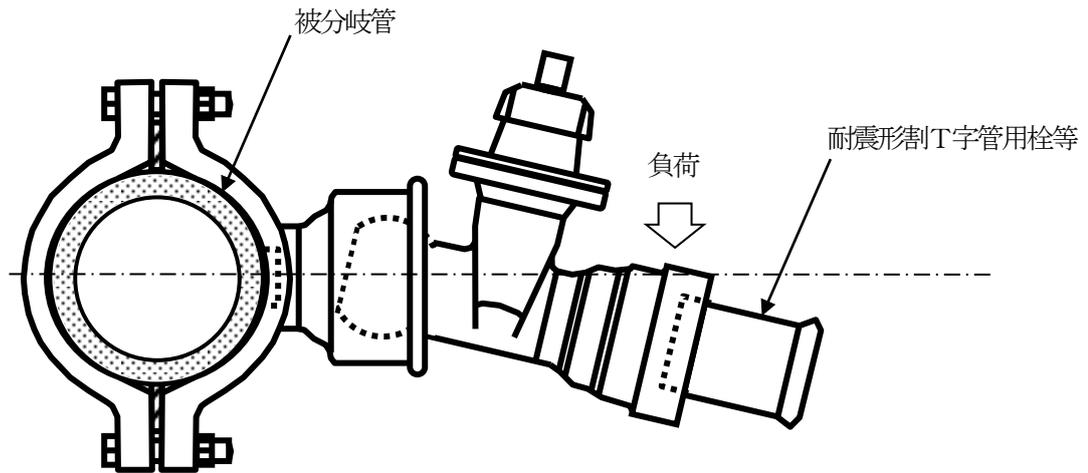


図-3-1 曲げ強度性能試験装置例A

(2) 可とう部以外の接合部

ア 管内に充水し、管内の空気を除去する。

イ 図-3-2に示すように、接合部に限界曲げモーメントを負荷し、5分間保持する。

ウ 限界曲げモーメントを負荷した状態で水圧1.75MPaを加え、5分間保持する。

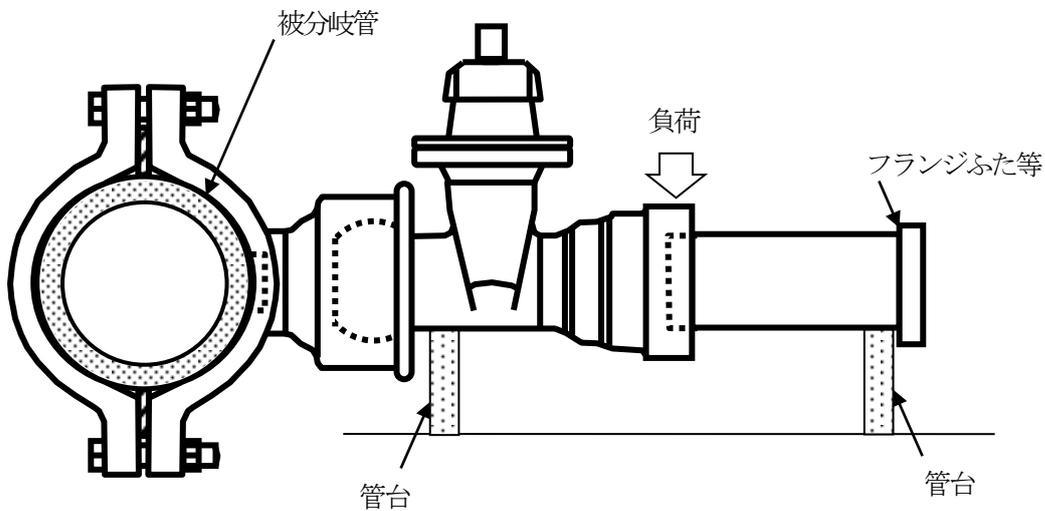


図-3-2 曲げ強度性能試験装置例B

2.4 可とう角試験

(1) 可とう角試験は、割T字管を被分岐管に固定し、図-4に示すような方法で可とう部に曲げを加え、割T字管の軸線からの可とう角を測定する。

(2) 上記の試験について、上下左右4方向に対して試験を行う。

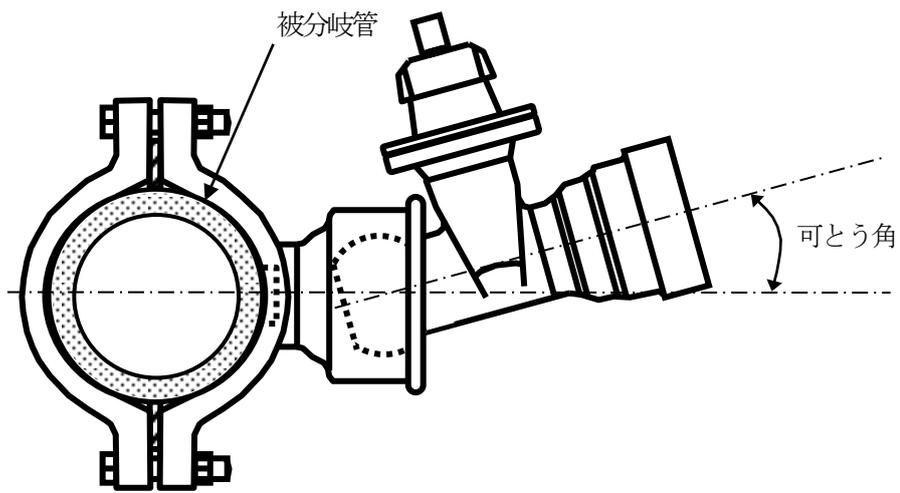


図-4 可とう角試験装置例

附属書2 耐震形割T字管用防食コア

1 適用範囲

この附属書は、使用圧力 0.75MPa 以下の水道において、東京都水道局（以下「当局」という。）が指定する耐震形割T字管（以下「割T字管」という。）の取り付け時、配水小管の分岐せん孔面の防食に用いる耐震形割T字管用防食コア（以下「コア」という。）について規定する。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この附属書2に引用されることによって、この附属書2の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版を適用する。

JIS G 3459 : 2012	配管用ステンレス鋼管
JIS G 4303 : 2012	ステンレス鋼棒
JIS G 4305 : 2012	冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯
JIS H 3100 : 2012	銅及び銅合金の板及び条
JIS H 3140 : 2012	銅ブスバー
JIS S 3200-7 : 1997	水道用器具—浸出性能試験方法
JWWA G 113 : 2010	水道用ダクタイル鋳鉄管
JWWA G 117 : 2008	水道用サドル付分水栓
JWWA K 156 : 2011	水道施設用ゴム材料

3 用語の定義

この仕様で用いる用語の定義は次のとおりである。

密着形コア	被分岐管せん孔面に密着し、防食及び防せい機能を有するコア
ストッパー	配水小管内への脱落防止のために設けたコアにおける段差部

4 種類及び呼び径

コアの種類は、密着形コアとし、呼び径は、割T字管の止水機構の呼び径である 75、100 及び 150 の 3種類とする。

5 概略

コアの概略図は、図-1による（この図は、部品名称を例示するためのものであって、コアの構造を規制するものではない）。

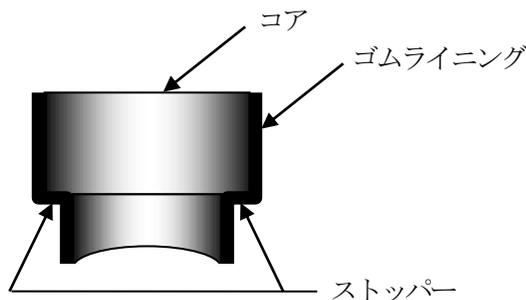


図-1 コア概略

6 外観及び形状

コアの外観、形状は仕上がりが滑らかで使用上有害な変形、傷その他の欠点があってはならない。

7 構造及び機能

コアの構造は、不断水下で挿入機により、配水小管せん孔穴に挿入、圧着又は抜け止めなどの機能を有すること。装着時、配水小管穿孔断面の全面に密着し、鉄部（被防錆部）接水面の防食機能を有するもので、密着後は配水小管とコア金属部分の接触がなく、配水小管せん孔断面とのすき間、ガタツキがなく、水の浸入を防止できること。

また、コアは呼び径ごとに、当局が管理する配水小管の口径にかかわらず、同一種で装着可能であること。

各コア呼び径におけるせん孔径は、表－1のとおりとする。

表－1 穿孔径 単位：mm

コア呼び径	穿孔径（最小）
75	64.5
100	89.5
150	139.5

8 材料

材料は耐水性、耐食性及び耐久性に優れ、水質に悪影響があってはならない。

また、せん孔断面に対し密着性及び耐劣化性を有するものとする。

なお、各部における主要部の材質は、次のとおりとする。

(1) コア

JIS G 3459「配管用ステンレス鋼管」、JIS G 4303「ステンレス鋼棒」、JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS H 3100「銅及び銅合金の板及び条」、JIS H 3140「銅ブスバー」で規定するステンレス又は銅を使用する。

なお、それ以外の材料を使用する場合は、当局と協議すること。

(2) ゴムライニング

JWWA K 156「水道施設用ゴム材料」で規定するゴムとし、圧縮永久歪率が小さく、劣化の起こりにくいものを使用すること。

なお、それ以外の材料を使用する場合は、当局と協議すること。

9 性能及び試験方法

通常の使用及び施工に支障のない形状で、十分な強度及び耐久性を有し、水質に悪影響を及ぼさないものであること。

性能及び試験方法は表－2によること。

なお、コアの試験に用いる管は、JWWA G 113「水道用ダクタイル鋳鉄管」で規定する水道用ダクタイル鋳鉄管のエポキシ樹脂粉体塗装品の呼び径 350 を使用する。

表-2 性能及び試験方法

性能項目	性 能	適用試験方法								
防食性	コアが配水小管のせん孔面に密着し、さびの状態がコアの通水内面に成長せず、通水を阻害しないこと。	JWWAB 117 附属書 5.9.3								
密着性	<p>表-3 に示すコアと配水小管の密着力を有すること。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表-3 密着力 単位：N</caption> <thead> <tr> <th>呼び径</th> <th>密着力</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>75</td> <td>1800</td> </tr> <tr> <td>100</td> <td>2100</td> </tr> <tr> <td>150</td> <td>3500</td> </tr> </tbody> </table>	呼び径	密着力	75	1800	100	2100	150	3500	JWWAB 117 附属書 5.9.5
呼び径	密着力									
75	1800									
100	2100									
150	3500									
浸出性	<p>厚生省令第 14 号「給水装置の構造及び材質の基準に関する省令」に適合すること。</p> <p>なお、試料水の調整は部品試験とし、割T字管の最小口径の接触容積に対するコアの接触面積とする。</p>	JIS S 3200-7								

10 表示

コアの表面又は包装には、次の事項を表示する。

- (1) 製造業者名又はその略号
- (2) 呼び径

附属書3 耐震形割T字管用栓

1 適用範囲

この仕様は、東京都水道局（以下「当局」という。）の給水区域内に使用する東京都仕様「耐震形割T字管」（以下「割T字管」という。）の閉栓に用いる耐震形割T字管用栓（以下「栓」という。）について規定する。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この仕様に引用されることによって、この仕様の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版を適用する。

JIS G 4303 : 2012	ステンレス鋼棒
JIS G 5502 : 2007	球状黒鉛鋳鉄品
JIS S 3200-1 : 1997	水道用器具—耐圧性能試験方法
JIS S 3200-7 : 2004	水道用器具—浸出性能試験方法
JWWA G 112 : 2004	水道用ダクタイル鋳鉄管内面エポキシ樹脂粉体塗装
JWWA G 114 : 2010	水道用ダクタイル鋳鉄異形管
JWWA K 156 : 2004	水道施設用ゴム材料

3 呼び径

栓の呼び径は、割T字管止水機構の呼び径である75、100及び150の3種類である。

4 概略

栓の概略は、図-1による（この図は、部品名称を例示するものであって、栓の構造を規制するものではない）。

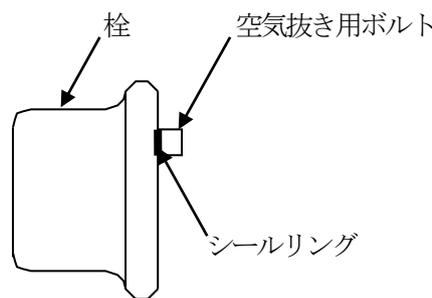


図-1 栓の概略図

5 構造及び形状

各部の構造及び形状は、通常の使用及び施工に支障のない形状で、十分な強度及び耐久性を有すること。割T字管止水機構の継手機構接合部との接合に支障がないこと。

また、特殊な工具を使用することなく、止水機構の閉栓が容易にできること。

なお、栓には、閉栓が容易にできるように接合用の附属部品、水密性等を確保するためにパッキン類を用いることができる。

6 材料

材料は通常の使用及び施工に十分耐えられるだけの強度及び耐久性を有し、かつ、水質に悪影響を及ぼさないものとする。

なお、各部における主要部の材質は、次のとおりとする。

(1) 栓

主要部の材質は、JIS G 5502「球状黒鉛鋳鉄品」で規定するFCD450-10又はJWWA G 114「水道用ダクタイル鋳鉄異形管」で規定するFDC420-10を使用する。

また、栓に接合用の付属部品を用いる場合には、主要部と同材質又は同等以上のものを使用し、水密性等を確保するために、パッキン類を用いる場合には、JWWA K 156「水道施設用ゴム材料」で規定するゴムを使用することができる。

(2) 空気抜き用ボルト

ボルトの材質は、JIS G 4303「ステンレス鋼棒」で規定するSUS304又は同等以上のものを使用する。

(3) シールリング

シールリングの材質は、JWWA K 156「水道施設用ゴム材料」で規定するゴムを使用する。

7 外観

(1) 塗装前の外観

鋳鉄部の塗装前の外観は、鋳肌の表面が滑らかで、鋳巣、割れ、傷、鋳ばりその他使用上有害な欠点があってはならない。

(2) 塗装後の外観

鋳鉄部の塗装後の外観は、異物の混入、塗りむら、ピンホール、塗りもれ等の欠陥がなく、表面が滑らかで均一な塗膜でなければならない。

8 塗装

塗装は、異物の混入、塗りむら、ピンホール、塗りもれ等の欠点がなく、表面が滑らかで均一な塗膜が得られるようにする。

(1) 内面塗装

ア 内面塗装の範囲は、接水面とする。

イ 塗料は、JWWA G 112「水道用ダクタイル鋳鉄管内面エポキシ樹脂粉体塗装方法」の4（塗料）で規定する塗料を使用する。

ウ 内面塗装は、JWWA G 112「水道用ダクタイル鋳鉄管内面エポキシ樹脂粉体塗装方法」の6.1（被塗装面の前処理）、6.2（塗料調整）、6.3（塗装方法）で規定する塗装を施す。

エ 硬化後の塗膜の厚さは、0.3 mm 以上とする。ただし、合わせ面、はめ合い部、パッキン装着部及びしゅう動部は除く。

(2) 外面塗装

JWWA G 114「水道用ダクタイル鋳鉄異形管」の13.2（外面塗装）で規定する塗装、あるいはこれと同等以上の塗装を施す。

なお、外面塗装範囲については、当局と協議を行うこと。

9 性能及び試験方法

通常の使用及び施工に支障のない形状で、十分な強度及び耐久性を有し、水質に悪影響を及ぼさないものであること。

なお、性能及び試験方法は表－1によること。

表－1 性能及び試験方法

性能項目	性能	適用試験方法
耐圧性	漏れ、変形、破損その他の異常がないこと。	JIS S 3200-1
浸出性	厚生省令第14号「給水装置の構造及び材質の基準に関する省令」に適合すること。	JIS S 3200-7

10 表示

表－2の事項を見やすい箇所に鋳出し又は容易に消えない方法で表示する。

表－2 表示

表示箇所	表示項目	表示方法
本体	都の認証マーク	鋳出し又は容易に消えない方法で表示する。
	呼び径	
	製造業者名又はその略号	
	製造年（西暦の下2桁）	
	球状黒鉛鋳鉄品の記号D	

11 その他

(1) 附属品

割T字管を閉栓するとき、接合用のボルト・ナット、水密性等を確保するためのパッキン類を用いる場合、ボルト・ナット、パッキン類を附属品とする。

(2) 施工、操作方法等

製品には、施工、操作方法等に関する取扱説明書を用意すること。

(3) その他

その他疑義を生じた場合には、当局と協議を行うこと。